

1. 日 時 令和8年6月22日(月) 10:00～12:00

2. 場 所 本校 図書室(小学部棟2階)

3. メンバー 〈学校協議会委員〉

荒木 寛巳(元森ノ宮医療大学教授 元府立支援学校学校長)

大矢 優子(摂津市教育委員会 教育委員)

秦 典代((株)ダイキンサンライズ摂津 企画部総務課長)

政森 景子(茨木・摂津障害者就業・生活支援センター所長)

寺田 義武(摂津市鳥飼上自治会 会長) 〈資料提出〉七瀧 史(本校PTA会長)

〈摂津支援学校〉

校長(村上) 教頭(竹内・岡崎) 事務長(川野) 首席(岡村・三牧・坂部)

首席兼教務部長(日高) 部主事(新地・沖・鮫島)

〈傍聴者〉 なし

4. 年間テーマ及び協議事項

主な内容 ①今年度の学校経営計画について ②授業見学 ③今年度の使用教科書について

5. 説明、質問、協議内容等

(1) はじめに [進行:岡村] [記録:坂部]

・配付資料確認

・校長あいさつ

この会は多角的な視点からご意見を頂戴し、学校の方針を定めていく重要な機会。忌憚ないご意見を。

・学校運営協議会委員及び事務局の紹介

・会長、副会長の選出

昨年度に引き続き、会長:荒木様 副会長:大矢様

(2) 学校より報告及び協議 [進行:荒木会長] (※質疑応答を併せて記載)

①今年度の学校経営計画について[担当:村上校長]資料⑤、パワーポイント

～地域とともに育つのち輝く学校づくり～

◆3つのスローガン(理想の学校をめざして、年度初めに教職員に説明している内容)

1 摂津支援は一つ(ステップは並列と考える)

ステップⅠ 生活年齢に応じた学びと多様な経験

ステップⅡ 学部間の連携連続性を意識した育ち

ステップⅢ 系統立ったキャリア教育から社会自立へ

2 よりよい魅力ある授業づくり

ステップⅠ 「やってみたい」「知りたい」を引き出す楽しい授業

ステップⅡ 計画・スタンダードに基づく授業の質向上

ステップⅢ 教員同士の「学びあう環境」による全校での授業向上

3 明日も行きたくなる学校づくり

ステップⅠ 児童生徒が安心して学び、過ごせる環境づくり

ステップⅡ 教職員の働きがいと働き方改革

ステップⅢ 多様な障がい理解、医療的ケア、徹底した安全管理

※上記の内容を歯車のように連動させて運営していきたい。

◆学校経営計画（中期目標）の説明

1 安全で安心な学校づくり

○人権への配慮と危機管理

人権について、保護者の学校教育自己診断評価はR7年度84.8%、85%以上を維持できるようにしたい。

防災について、令和6年度以降は地域やPTAと連携した「定期的な防災訓練」を本格実施している。

○自己肯定感と体力の育成（セッピィと一緒に楽しく運動）

令和7年度 児童評価における「学校生活への肯定的回答」は93.9%で目標の90%以上となった。

また独自調査でも、体力増進や自己肯定感の高まりを実感している児童が93%となった。

2 知的障がい支援学校としての専門性の向上

○授業改善

保護者 「授業は子どもたちが楽しくわかりやすいように工夫されている。」87.9%

「学習評価では、知識・技能の習得状況のみに偏ることなく、子どもが考えて表現したり、学習に意欲的に参加したりする姿などがバランスよく評価されている。」82.3%

※障がいが多様化する中で、どのように指導するか共有しながら専門性の高い授業を提供していきたい。

○学び合いの仕組み（PDCA サイクル）

学校全体の専門性の向上をめざす。本日も初任者が研究授業行っていて、教員の育成チームがサポートにあっている。

3 小、中、高をつなぐ、12年間のキャリア教育

社会の中で自分の居場所を見つけられるように（就職だけでなくそれぞれの自立をめざして）

4 地域に愛され、地域の中で育つ「開かれた学校」

障がいスポーツへの参加、地域行事への参加・ボランティア、地域清掃と学校間交流、HPでの情報発信

5 教職員が健康で働きやすい環境づくり

○労働安全衛生

令和7年度のストレスチェックの「総合健康リスク」は97と前年度より大幅に改善している。大阪府立のすべての学校で実施されている。産業医にも検証していただきアドバイスをいただいている。今後も維持できたらよい。

■総合まとめ（令和8年度の取り組みがもたらす効果）

児童生徒へ 「自己肯定感と自立」

教職員へ 「専門性と健康の両立」

地域・保護者へ「安心と共生」

《質疑応答》

【委員】 詳しくわかりやすく説明いただいた。

【委員】 パワーポイントで生成AIを使っておられ、校長先生も学びながらICTを取り入れて取り組まれているところがよい。生成AIは子どもたちにも使っているか。

【教員】 大阪府にガイドラインがあり、教員向けにはミニ研修を実施し活用を促進している。子どもたちには生成AIで使った教材を活用したり、児童生徒にも使い方を指導したりしている。

【委員】 文章を作成するのが難しい子どもたちが活用できたらよい。

モンテッソーリ教育を取り入れている保育園では、興味深い教具がたくさんあり、言葉ではなくやって見せる方法で指導している。

そのような教具や指導を参考にしながら ICT だけでなくいろいろな教材を活用してほしい。

先日の東京都の小学校の火災のようなことは心配。非常時用の物品など使えるようにしておいてほしい。

【委員】12年間一貫教育とのこと。高等部から茨木支援への引継ぎがスムーズにいくか。

【教員】各校教育課程の差異はある。引継ぎは個別の支援計画、指導計画をもって実施している。

【委員】ヒヤリハットはどのようなことがあるのか。

【教員】ヒヤリハットは個人情報等の事故につながる前の段階について報告している。

様式があり、学校の財産として記録しておく。朝の職員打ち合わせで原因、改善策を全職員に周知する時間がある。同じことが起こらないよう、事故に至らないよう努めている。

【委員】高等部から茨木支援に進学する子どもたちについてのご意見をPTA会長からうかがっている。環境に慣れることに時間がかかる子どもたちが多く、摂津支援に進学するか、茨木支援に進学するか選択できないか。ヒヤリハットは事故にならなかったらよかったとなるが、共有することは大事。

【委員】この校長の話は教職員にもしているか。

【教員】4月1日に3つのスローガンについて、学校経営計画を盛り込んで話した。

【委員】職場のビジョンを職員にちゃんと伝えないといけないと感じているが校長のプレゼンは視覚的にわかりやすいと実感した。

卒業後に就職した方に対し息の長い支援をと感じている。摂津支援を卒業後も頑張っておられる。就職された方以外で就Bや訓練校に通う方の「働きたい」気持ちをどう就職に結びつけていくかが課題。

摂津市内の関連機関の中で連携がとれるようにしているが、このような場で教育の方向性がキャッチできると学校とも連携できると感じる。

ストレスチェックについて、97は大阪府内でもいい数字なのか。

【教員】数値が下がるという変化があったことが良かった。同僚性が育まれ人に相談できる環境が整ってきているのを感じる。

【委員】地域住民として、子どもたちのことを拝見している。バス停までの様子もマナーを守っていて頼もしい。この度この支援学校は摂津市の避難所に指定された。

学校周辺住民から、通学バスのアイドリングが響くという意見があった。夏は冷房をかけるとは思いますが気にしていただきたい。

【教員】本日七瀬さまより連絡事項等をお預かりしている。

『対府要望の全校アンケートを行った。昨年度（それよりもっと以前も含めて）に引き続き、【茨木市在住の生徒が高等部進学時に茨木支援か摂津支援かを選択できるようにしてほしい】というご意見が多かった。今年度は今までになかったご要望も増えており、①【通学バス内での安全をより確保するために添乗員の増員やヘルパーの同乗を許可してほしい】、②【摂津支援学校近隣に駐車できる場所を確保/増やしてほしい】、③【児童生徒が落ち着いて過ごせるよう、教室の数を増やしてほしい】といったご意見も散見された。多くの要望のなかから最大枠の3つに絞った。今年度も摂津支援学校の児童生徒・保護者・教職員の皆様が安心して過ごせるよう、これからも活動してまいります。』

【委員】校長がプレゼンされたことを教員が知らないということがないように。4月1日に話しておられるのは大切なこと。学校経営計画について承認。

② 授業見学

小学部、中学部（職業等）、高等部（ワーク・委託等）

喫茶販売実習室で高等部職業コースによる喫茶サービス

【委員】学校の雰囲気がいい。教室にヘルメットや個人備蓄品ボックスもある。

【委員】初めて見学して広さにびっくり。雰囲気がいい。

【委員】掲示物をみて、遠足の段取りや何食べたい等、取り組みが工夫されていた。

【委員】生徒がいきいき授業をうけている。温かい気持ちになった。ヘルメットを備えているのは画期的。

【委員】先生方が笑顔で楽しく授業できていてよかった。教室の掲示などを見て、子どもたちと教師と一緒に T シャツをつくる雰囲気や取り組みがある。教育課程にはないが大事なことのかもしれない。

東京の火事の時にあったような子どもたちをひさしに座らせるようなことは支援学校ではできない。より安全に向けての対策が大事。急なことに対応できない子どもも多い。教師もケガをしないよう取り組んでほしい。摂津支援学校は福祉避難所になっているか。

【教員】なっていない。水害時は緊急避難場所、地震時は避難所。

③ 今年度の使用教科書について

【各部主事より】

○小学部

「かおかおどんなかお」シンプルな言葉が使われていて興味を引くイラストや色でかかれている。

画像に取り込み TV に映し出し、音を入れたりして提示している。

「おつきあいの基本」5, 6 年道徳 20 種類のお付き合いの基本が載っている。ロールプレイングの中で学びを深めている。

1, 2 年は「みのまわりのきほん」、3, 4 年は「おでかけのきほん」を使用している。

○中学部

3 年音楽 「音楽のおくりもの」検定本。書き込めるページもある。

3 年家庭 「たのしい家庭科」衣食住など自立に向けて取り組める内容。イラスト式で書き込めるページもある。最後に安全に関しても載っている。

○高等部

道徳「ひとりだちするための進路学習～あしたへのステップ～」実習を振り返るページもあり、わかりやすい文章でグループワークにも使いやすいということで選定。

社会「社会☆☆☆☆」知的障害支援学校用の星本、シラバスに沿って使えるので便利。

【委員】小学部の教科書について、自分の気持ちを言語化するのは大事なのでよい教科書だと思う。

(3) まとめ

【委員】他校では学期に一回生成 AI を使った授業をするなどの取り組みがある。

生成 AI はうまく使っていくことが大事。

校長より丁寧な説明もあった。委員からは忌憚のない意見をいただき、学校の力になれる会でありたい。

【教員】何か気づきがあればいつでも問い合わせさせていただきたい。3 年間同僚性の大切さを言い続けている。役割立場は違って相手も尊重して取り組み学校運営をすすめていきたい。

学校経営計画は教職員が関わって作っている。その過程を経ているから同じ方向を見てすすめている。

一部の教員と管理職の思いだけでは共有されず共通認識されない。チームで動けるように努めていく。

(4) 諸連絡 【岡村】次回は 10 月 28 日（水）AM